

平成 29 年度 事業計画

平成 28 年度も、当会の諸事業・行事に多大なご理解・ご協力を賜り、無事終了することができましたこと、関係各位・会員・賛助会員の皆様に感謝申し上げます。特に、第 53 回 関甲信支部首都圏支部医学検査学会では、1,070 余名の参加者の下盛会に開催できましたこと、更に、4 月から会名が変更になりましたことにもご理解いただき、併せて関係各位に厚くお礼申し上げます。

28 年度は、事務局が厚生連健康管理センターに移転し、事務局長・庶務部長・会計部長が変わり、副会長も 2 名が新任となり、会員各位にはご心配・ご迷惑をかけたこともあったかと思いますが、新たな発案・発信などで更なる発展を目指しているところであります。10 月には支部学会を開催し、11 月は日臨技からの委託事業である公益事業として全国展開している「検査と健康展」を実施いたしました。健康展は評判も良く、臨床検査と臨床検査技師の認知度向上に繋がり、今年度も継続します。がん予防啓発キャンペーンは、健康増進課や放射線技師会との共催で盛り上がっていますので、今後も県技師会の独自事業として継続してまいります。STI・HIV 予防啓発キャンペーンも小瀬での VF 甲府の試合前に若手技師による活動が定着しています。昨年は開催できませんでしたが、高校での特別授業は学生・学校にも評価が高く、独自事業として開催できる学校を募り、継続してまいります。また、好評でありました山梨臨床検査フォーラムを、更なる学術向上の場、会員同士の団結・親睦の場として充実させたいと思います。フォーラムに併せて今年度も賀詞交歓会を開催いたします。また、若手技師の会「若梨部」も新たな発想、学術研鑽や相乗効果を持ち、若手技師の語らいの場となるよう支援してまいります。新たな業務認証としての「検体採取に関する厚労省指定研修会」につきましては、現在 45% 程度の受講率ですが、会員全員の取得を目指します。新人教育研修も継続事業とし、「検査説明と相談ができる技師の育成」事業は日臨技では 3 年計画が終了しましたが、独自事業として人材育成にも力を注いでまいります。更に、国際学会や国際交流、国際支援などにも力を注いでまいります。災害対策も強化しなくてはなりません。また、各種認定の取得に対しても、応援できる体制を整えたいと思います。

2025 年問題や、病棟・在宅業務への進出に関しても準備を進め、チーム医療への参加を促していくことで、存在価値を高めねばなりません。

今年度も日臨技及び、支部内各県と連携を図り、首都圏支部と協働して地域医療の発展と医学検査の向上に努めます。

平成 28 年度の山梨県技師会は、以上のことを踏まえ、当会の目的を着実に推進すべく、下記の基本方針を軸に、公正で透明性の高い運営を目指します。

- 基本方針
- (1) 学術活動の推進
 - (2) 組織の強化・活性化
 - (3) 人材育成及び国際活動支援（認定取得支援を含む）

- (4) 情報網の整備（災害対策ネットワーク構築を含む）
- (5) 公益事業の推進と他関連団体との連携強化
- (6) 県技師会主催事業の開催

1. 学術活動の推進

学術は、技師会活動の根幹を占めることから、学術部研究班活動を中心に、多くの会員が積極的に研修会に参加できるよう企画する。医学検査学会はA地区担当で開催される。山梨臨床検査フォーラムを更に充実し、別途「検査説明と相談のできる技師の育成」研修を開催する。インフルエンザ等微生物の検体採取の講習会におけるライセンスの全員取得に取り組みたい。また、関甲信支部・首都圏支部と連携をとりながら、更なる学術研修会の推進を図る。精度保証認証については、認証取得施設の普及を図りたい。

2. 組織の強化・活性化

地区理事を中心とした地区活動の強化・親睦を図り、技師会未加入技師の入会を図る。技師連盟への加入推進を図り、法渉関係の強化と日臨技からの組織内議員の当選上積みを目指す。更に、OB会『銀の輪』の普及と加入推進を図る。昨年度発足した「若梨部」を将来の技師会や施設を担って立つような人材を育成するため支援していく。今後、更に会員の比率が増す女性会員も積極的な技師会活動への参入を推進する。また、検査フォーラムのあと組織強化と親睦を目的とした懇親の場（賀詞交歓会）の充実・継続を図る。

3. 人材育成（認定取得支援を含む）及び国際活動支援

昨年度に引き続き、新人教育として公益事業への参加と研修会を実施し、日臨技及び公益活動への理解と、夜間・休日の検査ポイントの知識向上を図る。認定取得に対しては、認定機構・認定センター・専門学会と連携をとり、研究班活動と共同で取得支援を推進する。学会抄録集がJ-STAGEに登録されたので、論文投稿にも協力していきたい。また、「若梨部」を中心に将来の技師会を担っていくような技師の発掘・育成、女性会員の育休後の教育支援、再就職に係る教育支援も希望を募り実施していきたい。更に、国際学会・国際交流・国際支援などへの活動に対しても積極的に支援していく。

4. 情報網の整理（災害対策ネットワーク構築を含む）

東日本大震災や熊本地震での教訓から、災害地域支援対策ネットワークを構築し、来るべく災害に対処できるよう強化していく。HPの個人情報の保護・セキュリティ強化に努め、広報部と協働し、HPの更なる充実と迅速かつ的確な情報提供を推進する。

5. 公益事業の推進と他関連団体との連携強化

日臨技委託公益事業である「検査と健康展」の更なる充実、「がん予防啓発キャンペーン」「STI・HIV 予防啓発キャンペーン」による県民への健康増進活動で関連団体と連携し充実を図る。「がん予防啓発キャンペーン」では県健康増進課・放射線技師会と密に連携し、県

民の健康増進の向上に寄与する。関連団体とは積極的に連携を図り、開かれた技師会を目指す。主に、例年同様、下記各種行事・事業への共催・参加・協力を促進していく。

- 1) 山梨県医師会精度管理調査事業
- 2) 山梨県健康増進事業への参加・協力
- 3) 日臨技及び関甲信支部、首都圏支部との連携・協力
- 4) 山梨県臨床検査医学研究会の共催
- 5) 医療関連団体、学会との連携・協力
- 6) 公益事業の推進・共催

6. 県技師会主催・担当事業の開催

- 1) 県医学検査学会 担当；A地区（甲府共立・厚生連グループ）
- 2) 学術講習会 担当；峡南地区
- 3) リフレッシュ研修会 担当；郡内地区
- 4) 人材育成研修会（新人教育研修会）
- 5) 山梨臨床検査フォーラム
- 6) 乳がん予防啓発キャンペーン
- 7) HIV・STI 予防啓発キャンペーン
- 8) 検査説明と相談ができる技師育成講習会
- 9) 検査と健康展
- 10) その他